

設置背景とその意義について

理念：障害のある人もない人も、お互いに尊重し合い、市民全てが安心して自立した暮らしができるまち・府中の実現

障害者のスポーツ実施率について(18歳以上の都民)
(R5東京都調査より)

都民のスポーツ実施率・・・66.3%

障害者のスポーツ実施率・・・46.3%

※週1日以上の実施

実施した理由

- 健康・体力づくりのため
- 運動不足解消のため
- 楽しみや気晴らし・気分転換のため

障害者スポーツを進める意義

健康増進
(肥満防止、精神面の安定)

余暇活動支援
(日中活動後の時間、週末の過ごし方)

社会参加
(仲間づくり、地域とのつながり)

障害者スポーツ推進の取組実績

障害者福祉課

軽スポーツ大会の実施

WaiWaiフェスティバル

プール開放日

- 障害当事者や作業所との繋がりがある
- スポーツ団体との関係性が薄い
- ▲ スポーツに関するノウハウは少ない

スポーツタウン推進課

ボッチャ大会・ボッチャ教室

市民スポーツ・レクリエーション
フェスティバル

みんなのスポーツDay

- スポーツに関するノウハウがある
- スポーツ団体との繋がりがある
- ▲ 障害当事者との接点が少ない

障害者福祉課とスポーツタウン推進課が連携することで、ノウハウを共有

障害当事者の運動機会創出、社会参加の推進
障害者スポーツの普及(広く市民向け)

→主に【障害者福祉課】
→主に【スポーツタウン推進課】

会議設置要領の概要と期待する効果

障害の有無に関わらずすべての市民がスポーツに親しみ、健康で活力に満ちた生活を送れる「スポーツタウン府中」の発展を目指す

意見の交換



①障害者のスポーツ実施に係る課題・情報の共有

②障害者スポーツの普及啓発

③障害者のスポーツ実施率向上に向けた地域の連携強化

・実施率の低さ
→機会の少なさ？
障害に応じたプログラム？
施設の整備状況？指導者不足？

・健常者と同じような体験の機会
(身近な場、簡単、楽しく)、
※作業所・特支学校への派遣
・パラ・デフリンピックを契機とした取組



“障害者がスポーツに触れる・見る・する”を支える場

- ・スポーツ団体、障害者団体の既存取組を、日常的なスポーツ実施に繋がるよう、より推進していく
- ・スポーツ団体と障害者団体との連携を目的とした意見交換の場